

様式第2号（第5条関係）

令和7年6月9日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

斉藤隆浩



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和7年5月25日
- 2 旅行先 神奈川県
- 3 目的 議会広聴活動について
- 4 関係書類 別紙のとおり

書
水



日 時	令和7年5月25日（15：45～17：15）
視 察 先	小田急海老名貸し会議室海老名駅前店 会議室D
調査事項	議会広聴活動について
対 応 者	一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏
1. 視察目的	議会における広報公聴機能の本質とこれからの活用の在り方について学ぶため
2. 視察内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. そもそも広報公聴とは 2. 栗山町議会基本条例に立ち返る 3. 議会の役割 4. 自治体がやるべきことと議会がやるべきこと 5. 具体的な取組 6. 質疑応答
3. 主な質疑	<p>具体的な取組の中で様々な方法が示された。まずターゲットと内容を定めるといところでその方法として栗山町のデータを利用するというお話があった。どのデータを利用するのかという話になり町外から転入されてきた人のお話や、町内の学生に対して行ったアンケートなどを活用しては？という内容で具体的にアンケート結果を見ながら進めて行ったが理想と現実といところで質疑が集中した。例えば学生が栗山町に残るためにはというアンケートの中に栗山町に多様な働き先があれば、遊べる場所があれば、などの声があった。</p> <p>全てを叶えれば本当に子供たちは残るのか？そもそも栗山町の予算規模でどこまでやれるのかをまず知るべきでは？などの質疑が出て講師から様々な助言をいただいた。</p>
4. 考 察 （感想、政策提言、課題など）	ターゲットを絞るというのは民間行政関係なく必要なことだ。ターゲットの根拠として様々なデータを活用するという中で私が把握していなかったデータを先生からたくさん示していただいた。多岐にわたるデータに基づいた行動が必要であると改めて感じた。議会報告会については議会基本条例に基づいて毎年開催しているが私

が議員になって感じたことは参加者の固定化だった。多様な意見を聞く方法として今回の研修で沢山のヒントをいただいた。また町づくりの方法としてデータに基づいた一般質問も効果的だと感じた。今回の研修内容を今後の議会活動、及び栗山町の町づくりを見直す一つの方法として活用し、より良い栗山町にしていくために活かしたい。